


熊本県 建築物環境配慮制度 熊本県独自の評価ツール：評価結果

v2022.0701


■ 建物概要			
建物名称	球磨支援学校(校舎棟)	建物用途	高等学校
建設地	球磨郡多良木町大字多良木字中原田1212-9	工事種別	新築
用途地域等	都市計画外(準都市計画外)	階数	地上2階、地下0階
省エネ:地域区分	6地域	構造	木造
竣工時期	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年10月11日
敷地面積	21,917 m ²	作成者	パオプラン熊本
建築面積	2,797 m ²	確認日	2022年10月14日
延床面積	4,565 m ²	確認者	パオプラン熊本

■ 外観	■ 評価グラフ	評価ランク
		A

● 外皮の熱性能 ⇒BPI (BPIm) など

	設計値／基準値
建築物全体	0.57
結果	

● 一次エネルギー消費量関連 ⇒BEI (BEIm)

	設計値／基準値
(1)非住宅	0.58
(2)住宅	—
(3)建築物全体	0.58
結果	

◎ 低炭素化に資する措置 ⇒2項目以上を達成

- ◎ ①: 節水に資する機器を設置
 - ②: 雨水、井戸水又は雑排水利用のための設備を設置
 - ③: HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)又はBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を設置
 - ④: 太陽光等の再生可能エネルギーを利用した発電設備及びそれと連系した定置型の蓄電池を設置
 - ⑤: 一定のヒートアイランド対策
 - ⑥: 住宅の劣化の軽減に資する措置
- ◎ ⑦: 木造住宅若しくは、木造建築物
 - ⑧: 高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分

◎ 低炭素化に資する措置

印刷:モノクロ
設定済み

- ・適宜、箇条書き等で記入してください。
- ・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

選択的項目	【該当】	計画上の配慮事項
①: 節水に資する機器	⇒⇒	<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入</p> <p>・設置する水栓(節水コマ内蔵水栓、自動水栓、ほか)について、半数以上の割合で <u>エコマーク認定を取得した製品(または同等以上の性能を有する製品)</u>を採用する</p> <p>※自動水栓付き手洗い器(定流量弁有り)、擬音装置付便器の採用</p>
②: 雨水、井戸水又は雑排水利用のための設備		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入</p>
③: HEMS 又は BEMS		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入 (以下、箇条書きによる記入例です)</p> <p>・BEMSを採用する ⇒<u>図面E-〇〇(電気系統図)</u>、<u>図面M-〇〇(空調系統図)</u>などを参照</p>
④: 太陽光等による発電設備及びそれと連系した蓄電池		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入 (以下、箇条書きによる記入例です)</p> <p>・屋上スペースに太陽光発電設備(モジュール・パワコンほか)を設置する。 また、〇〇スペースに当該発電設備と連系した蓄電池を設置する。 ⇒<u>図面E-〇〇(電気系統図)</u>、<u>図面E-〇〇(電気設備:〇階平面図)</u>などを参照</p>
⑤: 一定のヒートアイランド対策		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入 (以下、箇条書きによる記入例です)</p> <p>・緑地スペースを計画し、敷地面積の10%以上の緑地面積を確保する ⇒<u>図面G-〇〇(外構図:敷地全体)</u>などを参照</p>
⑥: 住宅の劣化の軽減		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入</p>
⑦: 木造住宅若しくは、木造建築物	⇒⇒	<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入</p> <p>・熊本県産材等を活用した木造建築物である。</p>
⑧: 高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用		<p>注) 【該当】欄が「⇒⇒」の場合は、必ず記入</p>
その他		<p>注) 上記以外の低炭素化に資する措置があれば、ここに記載してください。</p> <p>・建築物省エネ法に係る省エネ計算上、他の建築物とは別棟扱いである。</p> <p>・申請番号は複数あるが、①～⑤までを一棟とみなし「校舎棟」として評価した。</p>